

実践② 鹿屋市立東原小学校

1 はじめに

本校は、茶の栽培・牛の飼育が盛んな地域にある児童数 108 人の学校である。子供たちは、日頃から読書に親しみ、学校図書館をよく利用している。

本校では、「全ての教育活動の基盤は読書活動」の考えのもと、学校・PTA・地域が共に手を携え、鹿屋市の未来を創造する人間性豊かな人材育成「親と子の 20 分間読書」運動を推進している。

本校の読書活動は、学校図書館を中核とし、校内の読書活動を充実させるとともに市立図書館、県立図書館と連携しながら、地域の方々にも本を貸し出す学校図書館の地域開放を 3 年前から行っている。保護者による読書推進は、PTA 専門部の全ての活動に読書活動への努力目標が盛り込まれ、本校の読書活動を支えていただいている。

本年度、県教育委員会から「子どもの読書活動推進優良校」として表彰していただいた。

2 読書への誘い

本校では、わたしたちの母国語(日本語)を大切にしたい国語教育(核に読書)と鹿屋を訪れる外国人の母国語を大切にしたい外国語教育を研究の中核とし、読書活動もその一翼を担っている。様々な活動をとおして、子供たちを読書へ誘っている。

(1) 読書の時間

朝の会終了後、15 分間の読書の時間を設定している。(週 2 回)朝の読書の時間には、PTA「親と子の 20 分間読書推進部」の保護者の方々を中心に、各学級に読み語りに来ていただいている。子供たちは、保護者の方の読み語りを楽しみにしている。



(2) 「親と子の 20 分間読書の日」

学級ごとに、1 週間のうち 1 日「親と子の 20 分間読書の日」を設定し、おやこ読書カードや読書貯金に取り組んでいる。

本校で取り組んでいる「親と子の 20 分間読書運動」は、親が子供に読み語りをするだけでなく、子供が家の人に絵本等を読み語りすること、音読を聞いてもらうことなども、親と子の 20 分間読書の日の取組として推奨している。



(3) 図書委員会の活動

学校の読書活動の中心は、子供たちの委員会活動である。年間をとおして、季節に合わせたイベントを企画し、多くの子供たちが学校図書館を利用する工夫をしている。例えば、6月の梅雨の時期には、図書委員会による読み語りを昼休みに行った。また、7月は学校図書館内に竹を設置し、短冊に願い事を書いてもらう取組、9月から10月は「読書運動会」、11月は読



書月間として個人の読書目標を設定するとともに、「おすすめの本」の紹介や読書クイズ（参加者全員にしおりのプレゼント）など、学校司書と連携しながら子供たちが学校図書館を利用したくなるよう、創意工夫した活動を行っている。

学校司書も、子供たちが来館した時に季節を感じる設営を工夫して行うなど、楽しい雰囲気づくりに努めている。

3 外部機関との連携による地域開放

本校では、県立図書館から1,000冊ほど本を貸し出していただき、年に3回の入れ替えを行っている。内訳は、低学年用、中学年用、高学年用、紙芝居、一般図書、ビジネス支援関係の本である。

本校は、学校図書館を中核とした地域活性化に向けて、「読書のまち東原（ひがっばい）」づくりを推進している。その取組の一つとして学校図書館を地域に開放し、更に、鹿屋商工会議所の協力もいただき、農業を中心としたビジネス支援も行っている。県立図書館から農業に関する本を借りて、「ビジネス支援図書」としておいている。

学校図書館担当者11人が、それぞれのポジションでそれぞれの役割を担い、学校図書館の地域開放を推進している。

学校図書館の地域開放は、本校の特色ある活動である。

具体的には、地域の図書館（学校図書館内）を「まちの図書館ひがっばい」と命名し、週2日（月曜日、金曜日）の放課後を地域に開放している。地域開放利用の決まりと貸出カードを準備し、利用していただいている。

「まちの図書館ひがっばい」は、学校図書館で毎週金曜日に行っている鹿屋市寺子屋事業（寺子屋ひがっばい塾）を支えている地域の方々がコンシェルジュとなり、地域の方々の利用を促進している。

また、開放カレンダー、利用案内、おすすめの本などを掲載した『まちの図書館ひがっばい』便りを毎月発行し、町内会の回覧板で町内会の方々に、まちの図書館情報を提供するなど、学校図書館の広報活動も活発に行っている。

「まちの図書館ひがっばい」だより 10月号
 鹿屋市図書館ひがっばい（学校図書館内） 電話：099-33-1333

開放カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	②	3
4	⑤	6	7	8	⑨	10
11	⑫	13	14	15	⑬	17
18	⑮	20	21	22	⑳	24
25	㉑	27	28	29	㉓	

利用案内

貸出：一般図書（各冊まで）、紙芝居（7冊まで）、ビジネス支援（2セットまで）
 貸出期間：1週間
 開館時間：月（18時～19時、20時）、金（18時～19時、20時）
 ※貸出しは貸出カードが必要です。

おすすめの本

児童図書コーナー 新刊情報
 『くま、くま、くま』 作：上野実
 ネットワークの目には隠れてや
 った悪徳商売はほんの少し
 だけ聞くといろいろな動物があらわ
 れる楽しいお話です。

児童図書コーナー 新刊情報
 『くま、くま、くま』 作：上野実
 パラソルの背、小の森の森
 での動物園で遊んでみたい
 ひがっばいの1冊です。

二冊
 『鹿屋市寺子屋タイムズ Book』
 監修：長崎裕樹
 本館敷内にある寺子屋の歴史やシー
 ンが紹介、読みながら楽しめる
 読み物！

4 おわりに

学校図書館は児童・職員だけでなく、地域に開放することで真に生涯学習の拠点施設としての役割を担うこととなる。このことは、鹿屋市の未来を創造する人間性豊かな人材育成につながることである。

本校は、学校経営方針の中で【年間を通じて県民週間：学校へ行こう！いつでもOK授業参観】を掲げており、日常的に来校しやすい雰囲気が醸成されている。保護者の中には、来校の折、自宅で読み語りをする絵本や自分が読みたい一般図書を借りていく方も多い。

学校から市立図書館までは距離が離れているため、読みたい本があってもなかなか出かけられない方にとって、「まちの図書館ひがっばい」は、ありがたい存在である。

今後も、生涯学習の拠点施設としての「まちの図書館ひがっばい」が、より多くの方々に利活用していただけるよう努めていきたい。